

新幹線乗務員（車掌）の大合理化反対！

本日、会社は、業務委員会席上で、平成30年3月予定のダイヤ改正後の業務量に照らし合わせた要員の増減（概数）を明らかにしました。

各運輸所毎の要員増減の詳細については、4月に開催予定の業務委員会にて明らかにすると説明しました。

平成29年3月21日
新幹線鉄道事業本部
関西支社

新幹線車内業務の見直しについて

平成28年12月21日に提示した「新幹線車内業務の見直し」の実施に伴い、以下の通り要員体制の見直しを行う。

1. 実施箇所・要員増減（概数）

実施箇所	運転士	車掌
東京第一運輸所		
東京第二運輸所		
名古屋運輸所	+30	△230
大阪第一運輸所		
大阪第二運輸所		

2. 実施時期
平成30年3月（予定）

3. その他
要員増減の詳細については別途提示する。

また、この中で、平成29年度中のJRCPへの出向者は、各職場で10～20名の規模で車掌経験豊富な社員を指定するとしてきました。

「運転士+30」の詳細は、短回電担当及び短区間巡回行路の作成。

「車掌の△230」については、

- ①休日出勤指定の大幅な削減。
- ②特改行路の指定。
- ③短区間巡回行路の作成。
- ④JRCPへの出向に充当。

すると説明しました。

会社は、JRCPへの出向に対して車掌経験を踏まえて会社として適正に判断して指定すると説明しましたが、私たちは、本人の希望と承諾なしでは強制しないよう強く求めました。

私たちは、今回の大幅な人員削減と労働強化につながる提案に対して反対の見解を明らかにしました。